

「令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業」 の結果について

厚生労働省 医政局

医療情報担当参事官室

「令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業」概要

背景・経緯

- 地域医療情報連携ネットワーク（地連NW）のあり方について、第22回・第23回医療等情報利活用WGにおける議論を踏まえ、全国医療情報プラットフォーム（全国PF）、特に電子カルテ情報共有サービス（電カル共有）との棲み分けや機能、各地域の取り組み状況や利用実態等について調査を行うこととしていた。
- これまでの医療等WGの議論を踏まえ、地連NWの現在の利活用状況や財務状況等の把握を含め、令和7年度において厚生労働省で地連NWの現状把握を行った。

調査の目的・内容

- 稼働中の地連NW及び稼働を終了した地連NWを対象に、利活用状況や財務状況等に係る情報を収集・分析すること。
- 地連NWと電カル共有とのシステム連携に対する期待及び課題を把握すること。
- 地域医療介護総合確保基金拠出時の地連NW評価に資する情報を整理すること。

調査観点・調査方法

<地連NWの調査>

- ・ 参加医療機関数や患者数に加え、地連NWのアクセスログ集計を受領し利用状況を分析するとともに、地連NW参加施設を対象とした現場ヒアリングを実施し、地連NW導入効果を整理した。
- ・ 協議会の財務諸表を収集するとともにサービス提供ベンダへのヒアリングを行い、契約関係及びキャッシュの流れを整理し、財務基盤の安定性に関する分析を行った。
- ・ 都道府県が策定する医療計画、および基金における都道府県計画（基金事業計画）を調査した。

<電カル共有との連携に関する調査>

- ・ 地連NWと電カル共有の連携パターンを整理し、システム連携を目指す場合に解決すべき課題を整理した。

主な調査結果

<利用状況・導入効果について>

- ・ 月間アクティブ施設（実際に地連NWを利用する施設）率は20～40%台で登録施設数とアクティブ施設数の乖離がある。
- ・ 医師の記載したプログレスノート（2号用紙）など電カル共有で共有されない情報が開示され、閲覧の需要が高い地連NWが存在する。また、他医療機関からの検査予約機能などが活用されている地連NWが存在する。
- ・ 地連NW利用時の名寄せにおいて被保険者番号、診察券番号や氏名、生年月日等の情報を用いた突合が運用負荷となる。

<財務・運営状況について>

- ・ 地連NWの協議会の支出（費用）は年間数十万～数千万円単位まで隔たりがあり、公的補助金の投入有無やその額も差異が大きい。また協議会の財務諸表に現れない参加施設の負担がある。
- ・ 費用負担者がコストに相当する費用対効果を感じられないことは、地連NW運営継続のリスク因子となる。

<医療計画および基金事業計画について>

- ・ 多くの地連NWのアウトプット指標やアウトカム指標として「登録施設数」「登録患者数」が設定されている。

<全国PFとの連携について>

- ・ 地連NWで課題となっている名寄せの運用負荷は、オンライン資格確認の仕組みを活用することで一定程度軽減できる可能性があるが、オンライン資格確認システムに患者情報を照会する機能の追加が必要となる。
- ・ 電カル共有で取り扱う文書や情報を地連NWと直接連携するには、各医療機関における送信データ抽出、標準コード対応およびFHIR変換、地連NWと電カル共有の接続の認証、接続経路の構築といった複数の課題がある。

今後の方向性(案)

- 全国PFに含まれない情報や機能を活用しており、費用対効果が高いと地域で評価される地連NWについては、今後も活用されることが望ましいのではないかと。
- 都道府県計画や基金事業計画等における地連NWの評価においては登録施設数や登録患者数に加え、参加施設の実利用を反映する客観的指標（例：参考資料P 8の③～⑩に例示した各種アクティブ指標）も評価し、実際の利用実態や導入効果をより正確に評価することが望ましいのではないかと。
- 医療情報や介護情報の電子的共有の地域における費用対効果やその影響因子については、今後も評価を継続することが望ましいのではないかと。またこうした知見を踏まえ、全国医療情報プラットフォームや地連NWなど情報共有のシステムについて、各地の業務にあったシステムを各地域や各医療機関で選択できるよう、支援していくこととする。

参考資料

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

第22回 医療等情報活用ワーキンググループ（令和6年6月10日）で構成員から頂いた主なご意見

健康・医療・介護情報活用検討会 第23回医療等情報活用ワーキンググループ（令和6年12月2日）資料2

- ・全国医療情報プラットフォームと地連の棲み分け、役割分担が重要。
- ・全国医療情報プラットフォームで対応できるもの、地域医療情報連携ネットワークでなければできないことは何なのかということは再検討が必要。
- ・全国で地連が活発な地域、そうでない地域が見えるような地図を見せて頂く。それぞれ出来ていることや出来ていないこと、その原因について明らかにしていくことが必要。
- ・ネットワーク回線を見直すことによって、医療機関側の負担軽減やコストダウンにつながる。
- ・全国医療情報プラットフォームと地連の情報を上手く連携する必要があるのではないか。
- ・全国医療情報プラットフォームと併用して有効に使えるところに補助していくべき。
- ・現状は補助を継続し、将来的に全国医療情報プラットフォームが充実したら見直すべき。



前回WGでいただいたご意見に対して、さらに考えを深めていくことが必要。
上記をふまえて、地域医療情報連携ネットワークと全国医療情報PFの併存を見据えて現状の把握を行っていくこととしてはどうか。
現状の把握のために調査をおこなう場合には、地域医療情報連携ネットワークに関するこれまでの調査（日医総研「ICTを利用した全国地域医療情報連携ネットワークの概況」など）を参照しながら調査項目を選定していくべきではないか。

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 －地連NWの調査観点及び調査方法－

調査では地連NWの現状と今後の継続性を把握するため「財務状況」及び「利用状況」を調査観点とするとともに、地連NWの活用現場での実態に即した「導入効果」、また基金の拠出に資する情報整理を念頭に置いた「医療計画（基金事業計画含む）」を調査観点に設定した。

利用状況	参加医療機関数や患者数に加えて、地連NWのシステムから出力されるアクセスログを集計表の形式で受領した。アクセスログ集計表は、「JAHIS地域医療連携の評価指標に関するガイド Ver.1.0（以下「JAHISガイド」）に示されている指標を中心に設定した。
財務状況	協議会の財務諸表（活動計算書や貸借対照表等）を対象として、財務基盤の安定性に関する分析を行った。サービス提供ベンダへのヒアリングも併せて、契約関係及びキャッシュの流れを整理し、財務基盤の安定性に影響を及ぼし得るリスク要因について調査を行った。
導入効果	地連NW参加施設を対象とした現場ヒアリングを実施した。
医療計画	都道府県が策定する医療計画に加え、基金における都道府県計画（以下「基金事業計画」）を調査対象とした。

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業

－ 調査対象地連NWの基本情報 －

#	ネットワーク名	略称・愛称	協議会	対象圏域	利用パッケージ	選定方法	稼働状況	深掘り観点
1	庄内医療情報ネットワーク	ちょうかいネット	庄内医療情報ネットワーク協議会	山形県庄内二次保健医療圏	ID-Link	先行選定	稼働中	利用状況・効果
2	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル	ふじのくにねっと	ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル協議会	静岡県全域	HumanBridge	本選定	稼働中	利用状況・効果
3	滋賀県医療介護情報連携ネットワーク	びわ湖あさがおネット	滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会	滋賀県全域	ポータルシステム・ID-Link・HumanBridge・小規模医療機関情報システム	本選定	稼働中	財務状況
4	臼杵市地域医療・介護・保健情報連携システム	うすき石仏ねっと	うすき石仏ねっと運営協議会	大分県中部医療圏	スクラッチ開発	本選定	稼働中	医療計画
5	サルビアねっと	－	一般社団法人サルビアねっと協議会	神奈川県横浜市鶴見区、神奈川区、港北区	CoEsse	先行選定	稼働中	全般
6	宮古市医療情報連携ネットワーク	みやこサーモンケアネット	宮古市医療情報連携ネットワーク協議会	岩手県宮古保健医療圏	ID-Link	先行選定	稼働終了	財務状況・廃止経緯
7	埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム	とねっと	埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会	埼玉県利根保健医療圏	ID-Link（医療連携）・LifeRoute（PHR）・メディカルケアステーション（多職種連携）	先行選定	稼働終了	効果・廃止経緯

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - 利用状況の評価指標 -

- ①登録施設数：地域医療連携ネットワークに参加している施設数
- ②登録患者数：地域医療連携ネットワークに登録している患者数
- ③月間アクティブ患者数：一定期間（1か月）に閲覧された患者数
- ④月間アクティブユーザ数：一定期間（1か月）に利用したユーザ（医療従事者等）数
- ⑤月間アクティブ施設数：一定期間（1か月）に利用した施設数
- ⑥月間アクティブ延べ患者数：一定期間（1か月）に閲覧された延べ患者数
- ⑦月間アクティブ延べユーザ数：一定期間（1か月）に利用した延べユーザ（医療従事者等）数
- ⑧人口10万人あたりの月間アクティブ患者数：アクティブ患者数 ÷（対象地域の人口 ÷ 10万人）
- ⑨人口10万人あたりの月間アクティブユーザ数：アクティブユーザ数 ÷（対象地域の人口 ÷ 10万人）
- ⑩月間アクティブ施設率：月間アクティブ施設数 ÷ 参加施設数 × 100

延べ人数の考え方※1

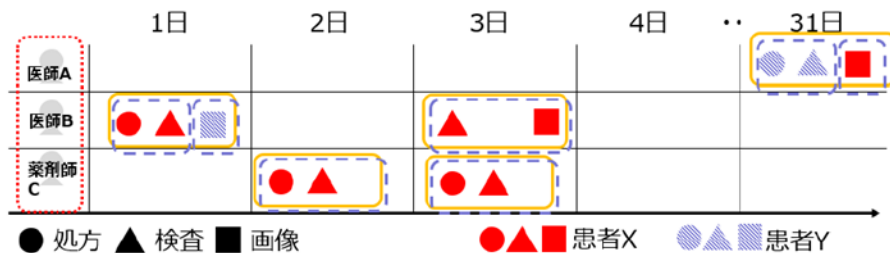


図1：アクセスログのデータの出カイメージ

指標の算出イメージ※1,2,3

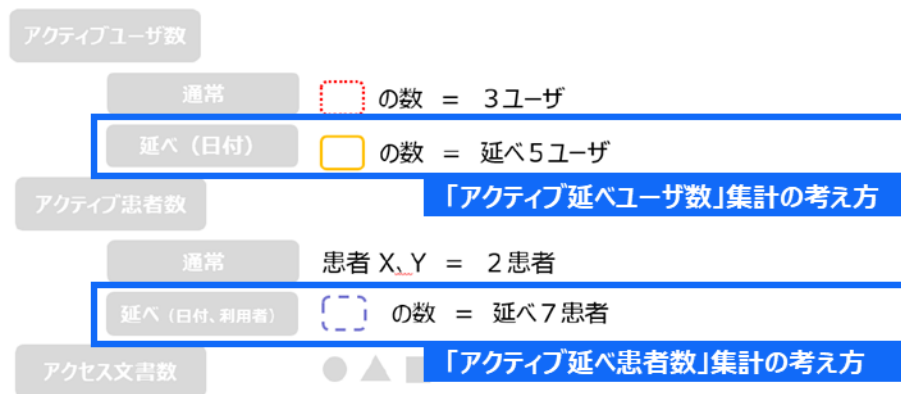


図2：図1を元にした指標の算出イメージ

※1 出典：JAHIS地域医療連携の評価指標に関するガイドVer.1.0「4.2.3.1.延べ人数について」（<https://www.jahis.jp/standard/detail/id=850>）

※2 脚注：アクティブユーザ数：一定期間（1か月）に利用したユーザ（医療従事者等）数

※3 脚注：アクティブ患者数：一定期間（1か月）に閲覧された患者数

各地域医療情報連携ネットワークの調査結果概要（抜粋）

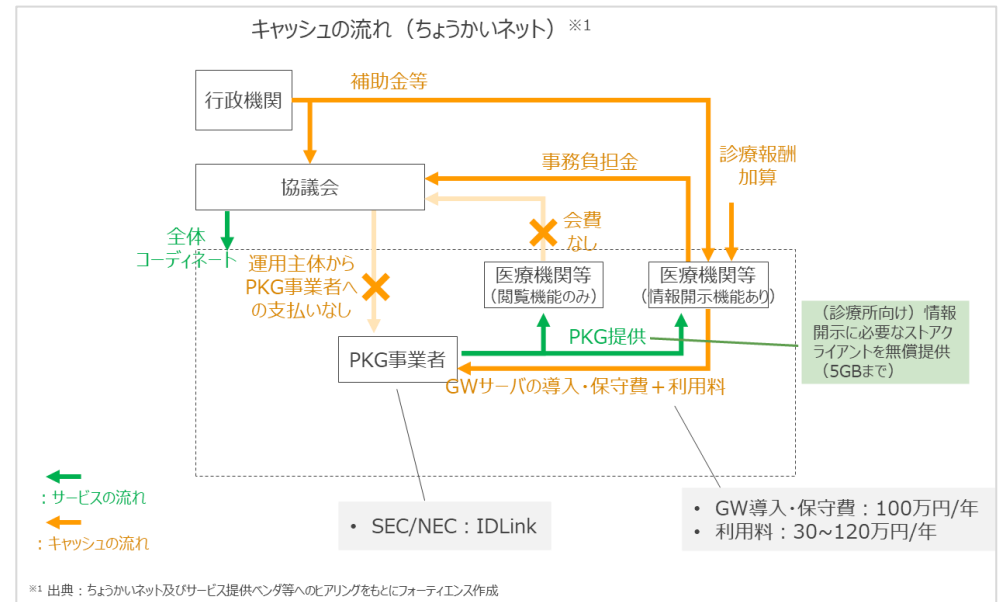
ネットワーク名	主な調査結果	稼働状況
ちよukaiネット	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の令和6年度支出は約45万円で、収入は補助金・事務負担金等で賄われている。開示施設のシステム利用料およびサーバー更新費は協議会を経ずパッケージ事業者に直接支払われる。 ・2025年平均の月間アクティブ施設率は41.8%、対象圏域人口10万人あたりの月間アクティブ患者数は921人である。 ・登録施設数・患者数は平成22～令和7年度に漸増している。年間アクセス数は漸増傾向で、医師・看護師・介護支援専門員のアクセスが多い。 ・医師の記載（2号用紙）が最も多く参照されており、転院時の事前情報収集やフォローアップなどに利用されている。 ・診療所からの検査予約機能なども利用されている。 ・利用に先立ち紙やFAXを利用した患者登録、ID紐付け、および開示設定の作業が必要である。ID紐付け（名寄せ）には被保険者番号や診察券番号、氏名、生年月日等の属性情報を用いる。 	稼働中
ふじのくにねっと	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の利用料収入は約1000万円、開示施設・閲覧施設ともに利用料がある。このほか、開示施設のシステム利用料はパッケージ事業者に直接支払われる。 ・登録施設数は令和2～7年度では漸減傾向となっているいっぽう、登録患者数は増加傾向である。 ・2024年度平均の月間アクティブ施設率は39.0%、対象圏域人口10万人あたりの月間アクティブ患者数は26人である。画像情報や検体検査、処方情報の参照頻度が高い傾向にある。 	稼働中
びわ湖あさがおネット	<ul style="list-style-type: none"> ・複数パッケージとポータルシステム、小規模医療機関情報システムを併用している。令和6年度の協議会収益は補助金と利用料収入があるいっぽう、地連NW事業者への業務委託費等の支出があり運用保守コストが比較的大きい。 ・登録施設数は令和2～6年度では漸減傾向である一方、登録患者数は増加傾向である。2025年12月の月間アクティブ施設率は22.7%である。 	稼働中
うすき石仏ねっと	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は臼杵市医師会と臼杵市が運営費を同額負担しているほか、参加施設からの利用料収入がある。 ・圏域人口10万人あたりの月間アクティブユーザ数は51人である。検体検査、薬歴情報、次いで画像情報が参照されている。 	稼働中
サルビアねっと	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は会員収入・会費収入により協議会を運営しており、システム構築費用を除き補助金収入を利用していない。 ・令和4～7年度の登録施設数および登録患者数は漸増傾向である。 ・ログイン数は月間約1100～1400件の範囲で推移している。 	稼働中
みやこサーモンケアネット	<ul style="list-style-type: none"> ・参加施設からの負担金収入と市町村補助金によって運営されていたが、ネットワークに患者登録をする診療所は数施設に限られていた。 ・登録施設数は令和2～6年度に漸減傾向となるなか、システムリプレースの費用負担の捻出が困難であり、廃止に至った。 	稼働終了
とねっと	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携・PHR・多職種連携システムを併用していた。登録患者数は増加傾向であった一方、登録施設数は漸減傾向となっていた。 ・参加医療機関および構成市町から費用の拠出を受けていたが、協議会と参加施設との費用負担の観点等の温度差、費用対効果に関する参加施設や構成市町の認識の違い等により廃止に至った。 	稼働終了

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちょうかいネット（財務状況） -

採用されているパッケージ（ID-Link）において開示施設から利用料をパッケージ事業者へ直接支払うビジネスモデルが採用されており、システム関連費用は協議会決算書で目立って計上されていない。

※1 (単位：円)

項目	区分	執行額	備考
収入	補助金	330,000	※補助金の額は、補助金対象経費の実支出額（千円未満切捨て）
	支援事業費	50,000	酒田市
		50,000	鶴岡市
	事務負担金	19,560	事務負担金¥5,000×3開示病院 事務負担金¥4,560×1開示病院 ※事務負担金の振込手数料は事務局持ちだが、3開示病院は手数料込で振り込まれた。
	雑収入	100	受取利息
	前期繰越金	263,363	-
収入計		713,023	-
支出	報償費	50,000	庄内地域医療情報NW特別講演会 講師謝金
	旅費	0	庄内地域医療情報NW特別講演会 講師旅費
	食糧費	1,332	庄内地域医療情報NW特別講演会 食糧費
	需用費	180,180	リーフレット作成（5000枚）
		25,300	庄内地域医療情報NW特別講演会 チラシ
		72,160	事務用品代
	手数料	3,410	振込手数料
	需用費	99,000	登録者カード（6000枚）
	諸会費	5,000	地域医療福祉情報連携協議会2023年度会費
		11,000	NSIPS利用料
	事務費	0	-
支出計		447,382	-
手許残高		265,641	※翌期繰越金として事務局運営費へ



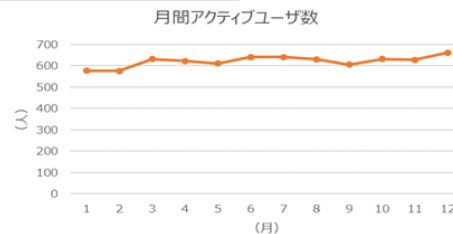
令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちようかいネット（利用状況） -

住民網羅率は29.1%、人口10万人当たりの月間アクティブ患者数は921人、対象圏域人口10万人当たりの月間アクティブユーザ数は236人、月間アクティブ施設率は41.8%であった。

利用状況の評価項目

評価項目	集計結果※1	統計情報も組合せた算出項目	算出結果	(参考) 算出に用いた情報
✓ 登録施設数（参加中）※2 (2026年1月時点)	273 ・開示施設数:5 ・参照施設数:268	—	—	—
✓ 登録患者数（累計）※3 (2025年12月時点)	76,643	✓ 住民網羅率 (対象地域※5の人口で割る)	29.1%	人口※6： 263,404
✓ 月間アクティブ患者数※4	2,425	✓ 人口10万人あたりの月間アクティブ患者数 (対象地域※5の人口で割る)	921	人口※6： 263,404
✓ 月間アクティブユーザ数※4	621	✓ 人口10万人あたりの月間アクティブユーザ数 (対象地域※5の人口で割る)	236	人口※6： 263,404
✓ 月間アクティブ施設数※4	114	✓ 月間アクティブ施設率 (登録施設数(参加中)で割る)	41.8%	登録施設数： 273

(参考) 月間アクティブ患者数・月間アクティブユーザ数・月間アクティブ施設数の推移



※1 出典：ちようかいネット提供資料

※2 脚注：「登録施設数（参加中）」の値は、2026年1月時点でちようかいネットに参加している施設の値であり、退会済みの施設は含まない。

※3 脚注：「登録患者数（累計）」の値は、2025年12月時点における累計の値であり、退会済みの患者を含む。

※4 脚注：ちようかいネット提供のアクセスログ集計表 2025年1月～12月各月の値の平均値

※5 脚注：対象地域は酒田市、鶴岡市、三川町、庄内町、遊佐町の2市3町。

※6 脚注：対象地域の人口は、「e-Stat 政府統計の総合窓口」の統計データに基づく。

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちょうかいネット（利用状況） -

登録施設数・患者数は平成22～令和7年度に漸増している。年間アクセス数も漸増傾向で、医師・看護師・介護支援専門員のアクセスが多い。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録施設数（参加中）※1	18	112	133	146	184	197	203	191
登録患者数（累計）※2	141	2,222	6,482	11,315	15,799	20,817	26,619	32,401

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
登録施設数（参加中）※1	210	242	238	243	252	263	275	279※3
登録患者数（累計）※2	37,981	43,789	49,337	55,131	60,650	66,457	72,460	77,578※4

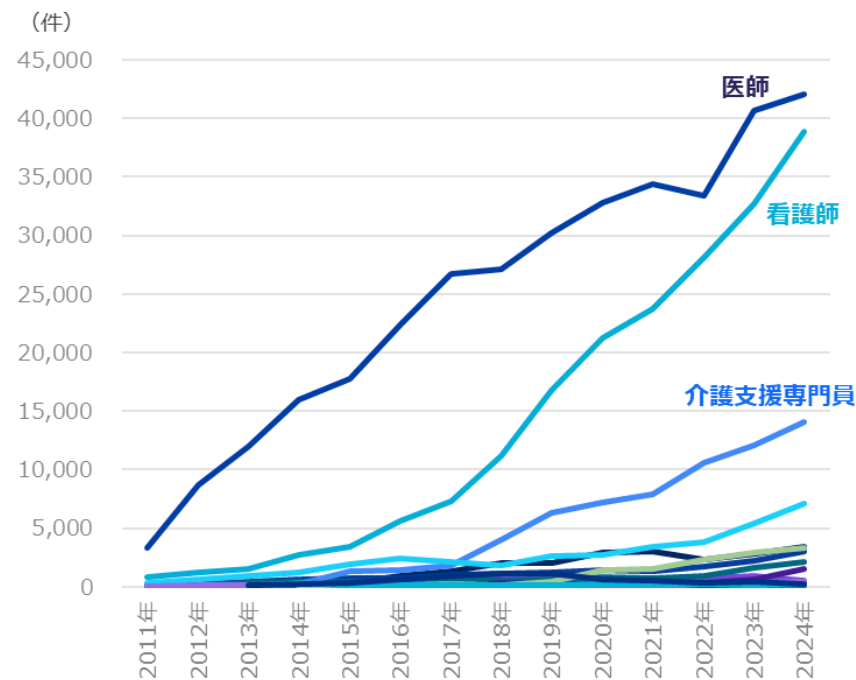
※1 出典：ちょうかいネット提供資料

※2 出典：ちょうかいネットHP 月別登録患者数

※3 脚注：令和7年度の「登録施設数（参加中）」は令和7年12月までの値

※4 脚注：令和7年度の「登録患者数（累計）」は令和8年2月までの値

職種別年間アクセス件数※1



※1 出典：日本海総合病院提供資料をもとにフォーティエンス作成

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちょうかいネット（利用状況） -

アクティブ延べ患者数の観点では、プログレスノート（2号用紙）が最も多く参照されている。

機能・出力欄・内容別年間アクティブ延べ患者数（施設種別ごとの集計）※1※2※3※4

機能	出力欄	内容	病院	診療所	歯科	薬局	訪問看護施設	介護事業所	総計
カレンダー表示	ノート（記録）	プログレスノート（診察記事）	10,088(41.2)	11,901(55.2)	-	290(50.3)	8,053(42.3)	8,551(50.9)	38,883(47.2)
カレンダー表示	ノート（記録）	プログレスノート（医師記録）	7,951(32.5)	5,068(23.5)	-	219(38)	9,562(50.3)	7,302(43.5)	30,102(36.5)
カレンダー表示	ノート（記録）	簡易サマリ（患者サマリ）	6,370(26)	4,388(20.4)	-	126(21.8)	2,099(11)	3,322(19.8)	16,305(19.8)
カレンダー表示	ノート（記録）	看護記録	5,178(21.2)	3,293(15.3)	-	67(11.6)	3,687(19.4)	3,780(22.5)	16,005(19.4)
カレンダー表示	処方（指示）	処方指示	3,206(13.1)	2,719(12.6)	-	251(43.5)	4,018(21.1)	3,080(18.3)	13,274(16.1)
カレンダー表示	検査	検体検査結果	3,468(14.2)	3,821(17.7)	-	158(27.4)	2,216(11.7)	2,229(13.3)	11,892(14.4)
カレンダー表示	レポート	診療情報提供書/依頼書	5,034(20.6)	2,793(13)	-	63(10.9)	856(4.5)	858(5.1)	9,604(11.7)
カレンダー表示	レポート	読影レポート	2,556(10.4)	4,017(18.6)	1(100)	39(6.8)	897(4.7)	893(5.3)	8,403(10.2)
画像・波形一覧	-	画像・波形一覧	4,712(19.3)	2,452(11.4)	-	3(0.5)	325(1.7)	262(1.6)	7,754(9.4)
カレンダー表示	画像	画像依頼	2,380(9.7)	1,376(6.4)	-	39(6.8)	1,011(5.3)	1,367(8.1)	6,173(7.5)
カレンダー表示	レポート	看護要約	3,232(13.2)	685(3.2)	-	27(4.7)	1,185(6.2)	356(2.1)	5,485(6.7)
カレンダー表示	注射（指示）	注射指示	1,799(7.4)	673(3.1)	-	61(10.6)	1,335(7)	1,244(7.4)	5,112(6.2)
カレンダー表示	レポート	返書/報告書	1,280(5.2)	1,856(8.6)	-	43(7.5)	591(3.1)	487(2.9)	4,257(5.2)
カレンダー表示	レポート	退院時要約	1,465(6)	1,053(4.9)	-	28(4.9)	450(2.4)	388(2.3)	3,384(4.1)
カレンダー表示	ノート（記録）	簡易サマリ(病名)	267(1.1)	209(1)	-	1(0.2)	185(1)	1,641(9.8)	2,303(2.8)
カレンダー表示	ノート（記録）	簡易サマリ(アレルギー)	186(0.8)	154(0.7)	-	1(0.2)	239(1.3)	1,434(8.5)	2,014(2.4)
カレンダー表示	画像	生理依頼	629(2.6)	499(2.3)	-	29(5)	189(1)	536(3.2)	1,882(2.3)
カレンダー表示	検査	細菌検査結果	645(2.6)	276(1.3)	-	8(1.4)	178(0.9)	108(0.6)	1,215(1.5)
サマリビュー(検査結果時系列)	-	サマリビュー(検査結果時系列)	188(0.8)	199(0.9)	-	11(1.9)	78(0.4)	80(0.5)	556(0.7)
チャート表示	-	チャート表示	115(0.5)	137(0.6)	-	5(0.9)	158(0.8)	62(0.4)	477(0.6)
カレンダー表示	検査	内視鏡依頼	131(0.5)	201(0.9)	-	5(0.9)	39(0.2)	87(0.5)	463(0.6)
ファイル一覧	-	ファイル一覧	410(1.7)	26(0.1)	-	-	10(0.1)	5(0)	451(0.5)
サマリビュー(投薬歴/注射歴)	-	サマリビュー(投薬歴/注射歴)	124(0.5)	50(0.2)	-	4(0.7)	111(0.6)	93(0.6)	382(0.5)
カレンダー表示	レポート	手術記録	114(0.5)	41(0.2)	-	-	35(0.2)	61(0.4)	251(0.3)
カレンダー表示	ノート（記録）	コメント（記録）	150(0.6)	2(0)	-	-	3(0)	4(0)	159(0.2)
カレンダー表示	任意項目	食事	10(0)	4(0)	-	-	13(0.1)	121(0.7)	148(0.2)
カレンダー表示	ノート（連絡）	コメント（連絡）	64(0.3)	1(0)	-	-	28(0.1)	-	93(0.1)
サマリビュー(病名・アレルギー)	-	サマリビュー(病名・アレルギー)	11(0)	2(0)	-	-	5(0)	13(0.1)	31(0)
カレンダー表示	レポート	その他文書	6(0)	-	-	-	7(0)	-	13(0)

※1 出典：ちょうかいネット提供資料をもとに厚生労働省作成

※2 脚注：集計対象期間は2025年1月～2025年12月

※3 脚注：水色のハイライト箇所は、電カル共有の共有情報として識別した項目

※4 脚注：()内の値は、「カレンダー表示」のアクティブ延べ患者数に対する閲覧割合を表示

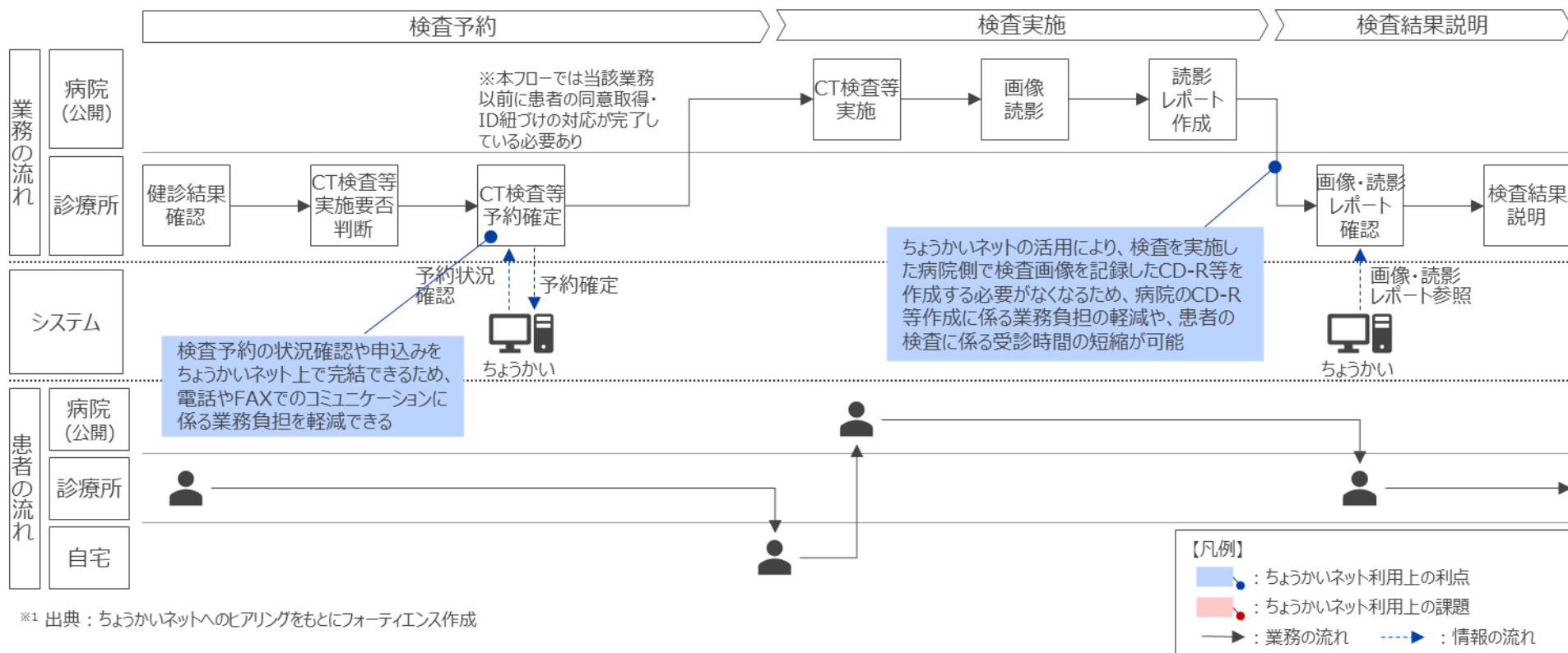
令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちょうかいネット（導入効果） -

地連NWの導入効果として、検査予約状況の確認や申し込みを診療所が地連NW上で完結することによる電話やFAXの業務負担の軽減や、画像データ・読影レポートの共有による、病院のCD-R作成の負担の軽減等が確認された。

※1

1

- 健康診断で要精密検査となった患者が、診療所で検査予約を行い、病院でCT等の検査を受診後、再び診療所で検査結果の説明を受ける流れ
- 病院は公開施設である前提
- 患者からの同意取得及び公開病院と診療所間でのIDの紐づけが行われていない場合は、別途当該対応が必要。



令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ちょうかいネット（名寄せ・開示設定） -

地連NWにおいては患者情報を施設横断的に共有する前提として、同意取得を伴う患者登録と、異なる医療機関で管理されている患者情報を同一人物として正確に対応付けるためのID紐付け（名寄せ）の処理が不可欠である。ID紐付け（名寄せ）には被保険者番号や診察券番号、氏名、生年月日等の属性情報を用いている。名寄せの運用負荷は、オンライン資格確認の仕組みを活用することで一定程度軽減できる可能性がある。

※1

特定患者（患者a）の患者登録からID紐づけ・開示設定の各ステータスにおける対応

ステータス	未登録	患者登録	閲覧施設のID紐づけ・開示設定	閲覧施設の追加ID紐づけ・開示設定
状態	ちょうかいネット（ID-Link）に、患者aの患者情報が未登録の状態	事務局にてちょうかいネット（ID-Link）に、患者aの患者情報が登録された状態	事務局にて公開施設A病院の患者IDと閲覧施設B診療所の患者IDを紐づけされた状態	事務局にて公開施設A病院の患者IDと閲覧施設C診療所の患者IDを紐づけされた状態
イメージ図				
必要となる対応	<ul style="list-style-type: none"> 開示施設もしくは閲覧施設にて、患者aにちょうかいネットのサービス内容を説明のうえ、患者aから参加同意（参加同意書兼連絡票）を取得する。 閲覧施設の場合は、患者aから取得した参加同意書兼連絡票に自施設で管理する患者aの患者IDを記入のうえ、開示施設（事務局）であるA病院へFAX等で送付する。 	<ul style="list-style-type: none"> 開示施設（事務局）であるA病院にて、患者aの参加同意書兼連絡票をもとに、ちょうかいネット（ID-Link）に患者情報を登録する。 なお、この時点においては閲覧施設であるB診療所やC診療所は、A病院の患者aの診療情報を閲覧することはできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 開示施設（事務局）であるA病院にて、ちょうかいネット（ID-Link）に閲覧施設であるB診療所で管理されている患者aの患者IDを登録し、B診療所に対して情報開示のアクセス権を設定する。 上記の対応が完了次第、B診療所はA病院の患者aの診療情報を閲覧可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 開示施設（事務局）であるA病院にて、ちょうかいネット（ID-Link）に閲覧施設であるC診療所で管理されている患者aの患者IDを追加登録し、C診療所に対して情報開示のアクセス権を設定する。 上記の対応が完了次第、C診療所はA病院の患者aの診療情報を閲覧可能となる。

同意取得

ID紐付け・開示設定

※1 出典：ちょうかいネットへのヒアリングをもとにフォーティエンス作成

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ふじのくにねっと（財務状況） -

令和6年度の利用料収入は約1000万円、開示施設・閲覧施設ともに利用料がある。このほか、開示施設のシステム利用料はパッケージ事業者に直接支払われる。

ふじのくにねっと事務局収支（R4～6年度）※1

(金額(円))(税込)

		R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
収入	利用料	10,021,666	10,197,500	10,007,500
	補助金	0	10,026,000	0
	収入合計	10,021,666	20,223,500	10,007,500
支出	IDCサーバ構築費用	0	20,052,450	0
	IDC保守委託料	5,263,500	5,263,500	5,559,554
	通信費(NTT)	187,428	185,584	186,360
	賃借料(貸出用Wi-Fi)	63,456	63,462	63,468
	郵送料	61,992	58,772	121,136
	印刷費	107,400	105,600	47,560
	備品・消耗品費等	263,340	0	11,030
	人件費	3,482,141	3,111,727	3,111,727
	支出合計	9,429,257	28,841,095	9,100,835
年間収支	592,409	▲ 8,617,595	906,665	
(累計)	19,874,579	11,256,984	12,163,649	

※1 出典：ふじのくにねっと提供資料

ふじのくにねっと利用料※1

(利用料)

第2条 参加機関は、ふじのくにねっとの利用にあたって次の利用料を納入しなければならない。

- | | |
|----------------------------|--------|
| (1) 稼働病床数300床以上の開示施設会員（病院） | 年額45万円 |
| (2) 稼働病床数300床未満の開示施設会員（病院） | 年額27万円 |
| (3) 上記(1)～(2)以外の開示施設会員 | 年額18万円 |
| (4) 参照施設会員（病院・診療所） | 年額3万円 |
| (5) 参照施設会員（病院・診療所以外） | 年額1万円 |
| (6) 法人会員 | 無料 |
| (7) 賛助会員 | 無料 |

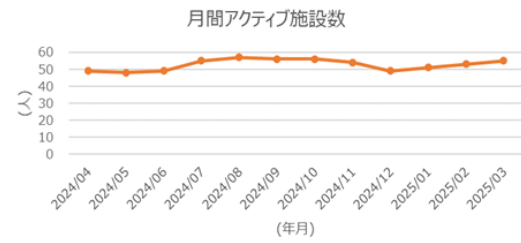
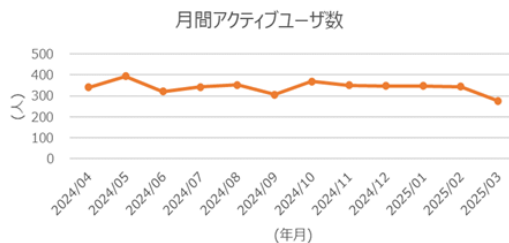
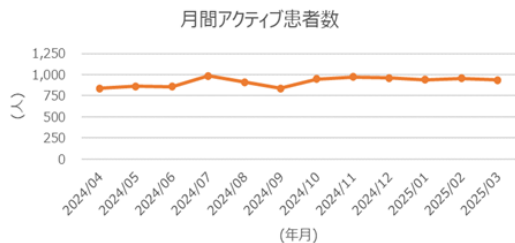
※1 出典：ふじのくにねっとHP (https://www.fujinokuni-net.jp/contents/uploads/2020/10/fuji_kitei_2020.8.3.pdf)

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ふじのくにねっと（利用状況） -

2024年度平均の月間アクティブ施設率は39.0%、対象圏域人口10万人あたりの月間アクティブ患者数は26人である。

評価項目	集計結果※1	統計情報も組合せた算出項目	算出結果	(参考) 算出に用いた情報
✓ 登録施設数（参加中）※2 (2025年9月時点)	136 ・開示施設数:20 ・参照施設数:116	—	—	—
✓ 登録患者数（累計）※3 (2025年9月時点)	71,899	✓ 住民網羅率 (対象地域の人口※5で割る)	2.0%	人口※6： 3,527,000
✓ 月間アクティブ患者数※4	917	✓ 人口10万人あたりの月間アクティブ患者数 (対象地域の人口※5で割る)	26	人口※6： 3,527,000
✓ 月間アクティブユーザ数※4	341	✓ 人口10万人あたりの月間アクティブユーザ数 (対象地域の人口※5で割る)	10	人口※6： 3,527,000
✓ 月間アクティブ施設数※4	53	✓ 月間アクティブ施設率 (登録施設数(参加中)で割る)	39.0%	登録施設数： 136

(参考) 月間アクティブ患者数・月間アクティブユーザ数・月間アクティブ施設数の推移



※1 出典：ふじのくにねっと提供資料

※2 脚注：「登録施設数（参加中）」の値は、2025年9月時点でふじのくにねっとに参加している施設の値であり、退会済みの施設は含まない。

※3 脚注：「登録患者数（累計）」の値は、2025年9月時点における累計の値であり、退会済みの患者を含む。

※4 脚注：ふじのくにねっと提供のアクセスログ集計表 2024年4月～2025年3月各月の値の平均値

※5 脚注：対象地域は静岡県のみ。

※6 脚注：対象地域の人口は、「e-Stat 政府統計の総合窓口」の統計データに基づく。

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - ふじのくにねっと（利用状況） -

画像情報や検体検査、処方情報の参照頻度が高い傾向にある。

検索種別・文書別年間アクティブ延べ患者数（施設種別ごとの集計）※1※2※3※4

検索種別	文書	開示施設※5				閲覧施設			総計	
		病院	診療所	薬局	介護	病院	診療所	薬局	介護	
画像情報インデックス取得※6	-	6,047 (38.6)	197 (19.3)	1,423 (29.2)	0 (0.0)	59 (27.7)	7,726 (35.3)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	画像※7	5,749 (36.7)	277 (27.1)	1,453 (29.8)	0 (0.0)	70 (32.9)	7,549 (34.5)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	検体検査※8	3,864 (24.6)	550 (53.8)	1,662 (34.1)	67 (77.0)	137 (64.3)	6,280 (28.7)			
検歴検査結果取得※9	-	3,489 (22.3)	614 (60.0)	1,582 (32.5)	69 (79.3)	124 (58.2)	5,878 (26.9)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	処方※10	2,607 (16.6)	390 (38.1)	1,339 (27.5)	49 (56.3)	66 (31.0)	4,451 (20.4)			
画像検査一覧取得※11	-	3,631 (23.2)	77 (7.5)	608 (12.5)	0 (0.0)	1 (0.5)	4,317 (19.7)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	レポート	1,471 (9.4)	82 (8.0)	1,326 (27.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	2,879 (13.2)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	注射	1,838 (11.7)	236 (23.1)	704 (14.5)	23 (26.4)	50 (23.5)	2,851 (13.0)			
カレンダー/イベント添付データ取得	-	1,256 (8.0)	64 (6.3)	875 (18.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2,195 (10.0)			
検歴一覧情報取得※9	-	1,356 (8.6)	186 (18.2)	350 (7.2)	23 (26.4)	9 (4.2)	1,924 (8.8)			
検歴時系列情報取得※9	-	1,021 (6.5)	250 (24.4)	204 (4.2)	44 (50.6)	7 (3.3)	1,526 (7.0)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	入退院	988 (6.3)	141 (13.8)	318 (6.5)	18 (20.7)	7 (3.3)	1,472 (6.7)			
患者メモ情報取得・更新	-	1,214 (7.7)	70 (6.8)	5 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1,289 (5.9)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	その他のメモ	1,167 (7.4)	66 (6.5)	7 (0.1)	2 (2.3)	0 (0.0)	1,242 (5.7)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	カルテ	872 (5.6)	29 (2.8)	18 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	919 (4.2)			
患者メモ情報一括取得	-	523 (3.3)	38 (3.7)	76 (1.6)	29 (33.3)	0 (0.0)	666 (3.0)			
病歴一覧情報取得	-	158 (1.0)	1 (0.1)	5 (0.1)	74 (85.1)	70 (32.9)	308 (1.4)			
薬歴一覧取得※12	-	241 (1.5)	7 (0.7)	28 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.9)	278 (1.3)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	医師のメモ	252 (1.6)	8 (0.8)	7 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	267 (1.2)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	看護カルテ	218 (1.4)	18 (1.8)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	237 (1.1)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	その他	81 (0.5)	2 (0.2)	10 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	93 (0.4)			
サマリー一覧表示情報取得	-	75 (0.5)	1 (0.1)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	77 (0.4)			
経過表情報取得	-	62 (0.4)	4 (0.4)	2 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.9)	70 (0.3)			
既往歴表示情報取得	-	49 (0.3)	1 (0.1)	1 (0.0)	0 (0.0)	9 (4.2)	60 (0.3)			
カレンダー/イベントコンテンツ情報取得	サマリ	40 (0.3)	0 (0.0)	6 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	46 (0.2)			
プロフィール表示情報取得	-	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.0)			

※1 出典：ふじのくにねっと提供資料をもとにフォーティエンス作成

※2 脚注：集計対象期間は2024年4月～2025年3月

※3 脚注：水色のハイライト箇所は、電カル共有の共有情報として識別した項目

※4 脚注：()内の値は、「カレンダー/イベントカルテ情報取得」のアクティブ延べ患者数に対する閲覧割合を表示

※5 脚注：「開示施設」については、受領したアクセスログ集計データから施設種別の特定が困難なため合算した値を表示

※6 脚注：画像ビューア（画像参照の別画面）を起動したときのログ

※7 脚注：カルテ参照画面における「カルテ」タブのカレンダー内の「画像」アイコンを押下し、詳細情報を表示したときのログ

※8 脚注：カルテ参照画面における「カルテ」タブのカレンダー内の「検査結果」アイコンを押下し、詳細情報を表示したときのログ

※9 脚注：カルテ参照画面における「検歴」タブの一覧を表示したときのログが「検歴一覧情報取得」、検歴一覧から該当の検査を押下して詳細情報を表示したときのログが「検歴検査結果取得」、検査結果の詳細情報から「時系列」ボタンを押下して検歴時系列画面を起動したときのログが「検歴時系列情報取得」

※10 脚注：カルテ参照画面における「カルテ」タブのカレンダー内の「処方」アイコンを押下し、詳細情報を表示したときのログ

※11 脚注：カルテ参照画面における「画像レポート」タブの一覧を表示したときのログ

※12 脚注：カルテ参照画面における「薬歴」タブの一覧を表示したときのログ

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 -びわ湖あさがおねっと(財務状況)-

複数パッケージとポータルシステム、小規模医療機関情報システムを併用している。令和6年度の協議会収益は補助金(約1000万円)と利用料収入(約4000万円)があるいっぽう、地連NW事業者への業務委託費(約2500万円)等の支出があり、運用保守コストが比較的大きい。

令和6年度 活動計算書
令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで
特定非営利活動法人滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会
(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取寄附金		
受取寄附金		0
2. 受取助成金等		
受取補助金(県)		9,679,000
3. 事業収益		
利用料収入		39,380,500
4. その他収益		
雑収入	144,068	
受取利息	23,948	168,016
経常収益計		49,227,516
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
業務委託費	24,937,793	
支払補助金	0	
会議費	24,473	
謝金	276,000	
旅費交通費	55,212	
通信費	280,872	
印刷製本費	37,000	
支払手数料	91,773	
賃借料	2,027,154	
雑費	84,700	
その他経費計	27,814,977	
事業費計		27,814,977

2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	7,188,671		
退職給付費用	148,225		
法定福利費	1,059,039		
福利厚生費	186,056		
人件費計	8,581,991		
(2) その他経費			
リース料	144,000		
通信費	199,272		
消耗品費	290,199		
事務用品費	0		
水道光熱費	51,812		
支払手数料	4,950		
保険料	34,770		
諸会費	3,000		
管理諸費	1,905,955		
租税公課	610,269		
減価償却費	12,915,437		
雑費	0		
その他経費計	16,159,664		
管理費計		24,741,655	
経常費用計			52,556,632
当期経常増減額			△ 3,329,116
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
法人税、住民税及び事業税			72,200
当期正味財産増減額			△ 3,401,316
前期繰越正味財産額			98,558,233
次期繰越正味財産額			95,156,917

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

※1 出典:びわ湖あさがおネット提供資料

令和7年度地域医療情報連携ネットワーク調査研究事業 - 地連NWと電子カルテ共有サービスの連携に向けた課題 -

地連NW（分散型）と電カル共有をシステム連携する場合のパターンを「ア.地連NWにある情報を電カル共有に連携する」「イ.医療機関が、電カル共有に蓄積された情報を地連NW経由で閲覧する」「ウ.地連NWで行っている名寄せ（ID紐付け）を電カル共有の機能で支援する」の3つに整理し、パターン別のシステム連携を目指す場合に、解決すべき課題を整理した。

電カル共有で取り扱う文書や情報を地連NWと直接連携するには、各医療機関における送信データ抽出（#3）、標準コード対応およびFHIR変換（#1・#4）、地連NWと電カル共有の接続の認証（#6）、接続経路の構築（#2・#5）といった複数の課題がある。

#	対象	現状	課題	連携パターン		
				ア	イ	ウ
1	医療機関	閲覧機能のみの医療機関はビューワ（ブラウザ）を利用して情報を閲覧するのみで、情報公開の仕組みは存在しない。	連携サーバ等により情報公開の仕組みを新たに導入し、標準コードへの対応及びFHIR変換を実施する必要がある。	○	-	-
2	医療機関	閲覧機能のみの医療機関において、院内のネットワークは外部接続を前提としていない。	閲覧のみであった医療機関のネットワークを、外部接続できるように整備する必要がある。	○	-	-
3	医療機関	連携サーバは閲覧医療機関からのリクエストに応じてSS-Mix2ストレージ又は電カルルのデータベースより対象のデータを取得する。	リクエストに応じる形ではなく、連携サーバが送信すべき3文書5情報を抽出できるようにする必要がある。	○	-	-
4	医療機関、事業者	FHIR変換を実施していない。	医療機関の連携サーバ等又は地連DCにおけるFHIR変換の実装が必要となる。	○	-	-
5	医療機関	医療機関から地連DCを経由して電カル共有にデータを送信する仕組みはない。	医療機関の連携サーバから地連DCを経由した電カル共有へのデータの送信の実現が必要となる。	○	-	-
6	事業者	各地連DCが医療情報を取り扱う上で必要となる一般的なガイドラインに準拠したセキュリティ対策を実施している。	電カル共有に接続するために求められるセキュリティ等の要件を満たし、接続に必要な認証を得るための対応を行う必要がある。	○	○	○
7	事業者	地連NWのビューワ（ブラウザ）において3文書5情報のリクエスト及び顔認証付きカードリーダーとの連携は実施していない。	顔認証付きカードリーダーと地連NWのビューワ（ブラウザ）を連携させ、患者同意情報の送信及び3文書5情報をリクエストする仕組みの実現が必要となる。	-	○	-
8	事業者	ビューワ（ブラウザ）に電カル共有から取得した3文書5情報を表示する機能はない。	ビューワ（ブラウザ）にて電カル共有から取得した3文書5情報を表示できるようにする必要がある。（注）電カル共有との連携後にPKG事業者側で発生する課題	-	○	-
9	事業者	地連DCにはオンライン資格確認システムと連携する機能はない。	地連DCからオンライン資格確認システムに対して患者のキー情報を照会する機能の追加が必要となる。	-	-	○
10	事業者	複数の医療機関の患者情報の名寄せを行う際、各医療機関において蓄積された被保番及び氏名・生年月日等の基本情報の組み合わせをキーとして、目視等の確認を加えて名寄せを実施している。	オンライン資格確認システムへの照会結果を活用して、患者を名寄せする仕組みの実現が必要となる。（注）電カル共有との連携後にPKG事業者側で発生する課題	-	-	○